

基本目標 1 みんなの力で安全で安心して暮らせる多様性のあるまちへ

基本施策1－6 男女共同参画の推進と多文化共生社会の形成

めざす姿

市民一人ひとりが、それぞれの性別・国籍・人権・同和教育などに理解を示し尊重することで、その個性と能力を十分に発揮し、自分らしく心豊かに生活することができるまちを目指します。

現状

- ① 人権・同和問題は依然として存在しており、昨今ではハラスメント、多国籍問題、性的マイノリティなど、人権問題が複雑多様化している状況です。そのため、本市では、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を目指して、啓発活動に取り組んでいるところです。
- ② コロナ禍による入国制限が緩和され、労働現場の人手不足を背景とした外国人材の受入拡大に伴い、市内に居住する外国人市民数は増加傾向にあり、その国籍も多様化しています。
- ③ 制度や慣行等、社会の様々な分野において、いまだに固定的な性別役割分担意識が残っている状況であるため、男女共同参画社会の啓発に取り組んでいます。
- ④ 男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの施行により男女が共に働き続けられる条件が整備され、市内の一部の企業や団体においても女性の活躍推進やワークライフバランス（仕事とプライベートのバランス）充実にに向けた取組が進められています。

課題

- ① あらゆる人権問題の解決に向け、市民が身近に触れ合うような人権教育と同和問題啓発を幅広い年代層に実施し、市民一人ひとりが正しい理解と認識を深めるよう、今後も継続して啓発活動を行っていくことが必要です。
- ② 市民一人ひとりが多様性を認め合い、交流をとおして、互いの文化や価値観を認めながら多文化共生の社会づくりを推進していく必要があります。
- ③ 男女共同参画社会の啓発を行う側も、受ける側も、一部の関心がある層や、男女共同参画に理解がある職場の人に限定されがちであるため、多くの市民に対しての意識醸成が課題となっています。
- ④ 持続可能な本市の未来のためにも、今後、より多くの企業等で女性の活躍推進やワークライフバランス充実にに向けた取組が推進されることが必要です。



単位施策

単位施策	主な取組	数値目標	
		現状値	目標値
人権・同和問題に対する啓発活動	● 学校、企業、地域における人権・同和問題の啓発活動を推進する。 ● 同和問題研修会及び人権フォーラムを継続的に開催し、市民の人権・同和問題に関する意識向上を図る。	同和問題講演会及び人権フォーラムの参加者数	
		309人	360人
多文化共生の社会づくり	● 多文化共生に関するワークショップや「やさしい日本語」研修会等を開催し、多文化共生への理解を促進する。	多文化共生に関するワークショップ及び研修会の年間参加者数	
		10人	100人
男女共同参画の意識づくり・社会づくり	● 性別役割分担意識をなくし、男性も女性もワークライフバランスが取れるよう各分野に働きかける。	ワークライフバランスが取れていると感じている人の割合	
		29.5%	40.0%

多様な主体の活躍

市民・個人	地域	企業・団体等
● 人権・同和問題の意識向上に努めます。 ● 外国人市民との交流をとおして、多文化共生の意識を持ち、外国人市民にとって、住みやすい環境づくりを支援します。 ● 市が発信する情報に関心を持ち、男女共同参画について、職場や学校、プライベートな場で、気軽に話をしたり聞いたりします。	● 人権・同和教育に協力します。 ● 外国人市民との交流をとおして、多文化共生の意識を持ち、外国人市民とともに、住みやすい環境づくりをめざします。 ● 役割を男性がするもの、女性がするものと決めつけず、多様な考えを取り入れるための可能性を探ります。	● 企業の人権に対する意識向上を図り、ひいては企業のイメージアップ効果により市内での就職数増加につなげます。 ● 人権・同和教育に協力します。 ● 外国人市民が働きやすい環境づくりに取り組みます。 ● 男性中心型の労働慣行・職場風土を見直し、個人が十分に能力を発揮できる体制を整えます。

個別計画

- 唐津市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 唐津市人権教育・啓発基本方針
- 唐津市人権・同和教育基本方針
- 男女共同参画基本計画